

○新型コロナウイルス蔓延対策のため、今回は書面会議とさせていただきました。

各事業所等へサービス内容および現状について、FAXにて報告させていただいております。

：報告および検討内容

1. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービス 集計報告

① R3年10月～R4年3月集計（別紙参照）

② ・新患→13名

・終了者→10名（入院、死亡）

利用者人数 7名

☆令和3年度後期は、短期間の利用者（癌末期や老衰など）が多く、最短で1日の利用となった方もおられました。そのため、新患数も多いが、終了者も多い状況です。

亡くなられた方は8名。うち、在宅で亡くなられた方は6名おり（看護師が医療保険で看取った方は4名）当サービス単体でのお看取りは2名。エンゼルケア（死後の処置）もヘルパーが介助させて頂く、良い経験になりました。今後も自宅での看取りの手助けに当サービスが必要と考えて頂けるよう、普及していければと願っています。

その他、認知症の方など、服薬確認（配薬）の方も3名ご紹介を受け、現在は概ね経営も安定している状況に回復しています。

③ 疾患の別

・脳梗塞後遺症 ・大脳皮質基底核変性症 ・腰椎圧迫骨折 ・心房細動

・アルツハイマー型認知症 ・認知症

④ エリア 祝津、高島、花園、最上、奥沢、天神（距離的に拡大している状況）

2. 定期巡回サービス内容報告→定期訪問

① 排泄介助

② 陰部洗浄

③ 軽微な創の軟膏処置

④ ポータブルトイレ清掃（排泄の確認）

⑤ 軟膏塗布、湿布貼付

⑥ 買い物、調理（ミキサー食含め）

⑦ 配膳（温め）、下膳、食事促しおよび介助

⑧ 内服介助（配薬）、確認

⑨ シーツ交換、洗濯、掃除などの生活支援

⑩ 更衣介助

⑪ モーニングケア、就寝介助

⑫ 整容、保清（全身清拭、洗髪、髭剃りなど）

⑬ 移乗、移動介助

⑭ デイサービス準備

⑮ 通院介助（自費）

3. 随時対応サービス内容報告→コールでの対応

- ① デイサービスが休みになった（コロナ）ため、急遽の定期訪問依頼
- ② 呼吸状態がおかしい
- ③ 意識レベル低下
- ④ 腹痛と嘔吐
- ⑤ 活気がない
- ⑥ 尿の色がおかしい（血尿）

4. 随時訪問サービス内容報告→ヘルパーの予定外訪問

対応なし

（亡くなられた後、看護師と共にエンゼルケアへの参加）

5. 訪問看護緊急対応内容報告→看護師の予定外訪問

- ① ターミナルケア
- ② 状態観察
- ③ 医師への上申（臨時往診や臨時受診、救急搬送など）

※5. 6. 項目を見ても、医療ニーズの高い方の緊急対応が多いのは同様

6. 問い合わせ状況

・なし

7. 新型コロナにおける現状

- ① 通所先のデイサービスでのクラスターで、通所が出来なくなった事例
→訪問の調整を行い、清拭や調理介助を実施
- ② 通所先のデイサービスでのクラスターで、ご本人が濃厚接触者になった事例
→独居も日常生活動作は確立。認知症のため配薬をしていた方
抗原検査キッド（自費）での検査了承を受け、PPE 着用し看護師が訪問し検査実施
陰性である事を確認し、訪問継続。（ご本人へ外出自粛の説明を都度実施）
- ③ 通院中のクリニックがクラスターで受診不可となった事例
→近隣のクリニックに依頼。今回のみ受診して処方を受け対応

☆今後もコロナ陽性者への関わりも十分予測されるため、シミュレーションや研修会を重ねて対応していきます。

☆また、当社スタッフ内での感染を考慮し、業務継続計画を作成し、初動を含めて、各スタッフの役割を決め、各関係機関への連絡や協力を速やかに行い、利用者への不安や不利益を最小限に留められるよう、配慮していきます。

8. 令和4年1月13日の実地指導の結果

- ① 重要事項説明書に第三者評価の実施状況が記載されていない
→重要事項説明書に協議会メンバーにおける直近の外部評価（利用者アンケートの結果も踏まえ）
実施日およびホームページにおいて公表している旨を追記。
すでに利用をして頂いている利用者へ追記の説明を行い、了承の署名と捺印を頂いた。

- ② サービス提供体制強化加算（Ⅰ）算定における研修会の個別計画ができていない（助言）
→全ての従業員に共通の研修会を実施していたため（研修記録は個人で作成し提出）、R4 年度より従業員個々に対して目標設定を行い、研修期間や実施時期を定める事とした。

③ 計画書の作成について

計画書は作成されているが、ケアプランがない時期がある（短期目標→介護のみ～看護師一体型への移行時）。また、計画書に長期目標期間および短期目標期間が設定されていない。
→ケアプランの有効切れへの確認作業の徹底およびケアマネジャーへの依頼（依頼した旨の記載）
計画書に長期目標および短期目標有効期間の記載欄を追加した。

9. 当サービス開設 10 年を迎えて

平成 24 年 4 月からサービスを開始。令和 4 年 3 月末時点での利用者総数は 116 名。

ご紹介先数：地域包括支援センター 7 件、病院ケースワーカー 3 件、医師 1 件、
居宅介護支援事業所 18 件、ご家族や知人 4 件、その他事業所 2 件

ケアプラン作成事業所数：26 事業所

主治医（指示書発行）医療機関数：34 か所

* 今後もまだ利用経験のない居宅介護支援事業所や病院ケースワーカーなどへの働きかけを行っていかう
と思います。

10. 役員の方からのご意見など（FAX にて頂いております。）

- ・コロナ禍もあり事業所サービス提供体制の維持や会議の開催等大変かと思えます。
今後も必要な方が必要な時に必要なサービスを切れ目なく利用できるようご配慮ください。
- ・自宅での看取りや重度の方の方の対応にはなくてはならないサービスだと思えます。
- ・内服介助、傷の処置、整容保清等、毎日の医療や介護が自宅で行われていることで、利用者様が住み慣れた地域で済み続ける事ができる事がわかります。
- ・新型コロナウイルス感染関連の対応についても、事業所内での感染防止に配慮しながら利用者様への訪問を継続しており、利用者様が安心して生活されていることがわかります。
今後も地域住民の方のご相談にのっていただければと思います。
- ・コロナ禍において、他（多）機関と連携し受け皿となることで、医療・介護のサポートを必要としている方へ、途切れなくサービスを提供することができ、利用者の不安の緩和につながっていくことがわかりました。
- ・マンパワーの課題もあると思えますが、報告件数以上に必要としている方はいると思えます。
各事業所を対象にアンケートによるニーズや現状の調査を実施されてみてはいかがでしょうか。
- ・利用者の増加は日ごろの事業内容の後方周知の結果と推察いたします。
短期間の利用や看取りもあるとのことですが、可能な限り居宅における日常生活を支援するという定期巡回・随時対応の基本に沿って利用者のニーズに対応していることの表れではないでしょうか。
- ・利用者の増加とともに対象地域の拡大により訪問に 20 分前後かかる地域雄あるかと思えます。
雪解けとともに周囲の状況も変化しますので、交通事故等には十分気をつけてください。
- ・新型コロナ対策として BCP 作成ほか、研修会等による対応策をとられているとのこと。大型連休後の市内の感染状況も懸念される場所ですので、引き続き感染防止対策の継続をお願いいたします。

11. 役員の皆様

札樽・すがた医院 理事長・院長	菅田 忠夫 様
小樽市福祉保険部 主幹	太田 匡彦 様
南部地域包括支援センター 管理者	飛内 真理子 様
北西部地域包括支援センター 管理者	川崎 里美 様
中部地域包括支援センター 管理者	小笹 雄大 様
東南部地域包括支援センター 管理者	石ヶ森 寛 様
上部入船町内会長	佐々木 茂 様
入船西民生児童委員	小野 直子 様
ケア・オフィス 優 管理者	二丹田 早稲子
ケア・オフィス 優 計画作成責任者	川村 光加
ケア・オフィス 優 事務職員	齋藤 智世